

26日(朝)

(聖句/ヘブライ人への手紙11章13、14節)

この人たちは皆、信仰を抱いて死にました。約束されたものを手に入れませんでした。が、はるかにそれを見て喜びの声をあげ、自分たちが地上ではよそ者であり、仮住まいの者であることを公に言い表したのです。彼らは、自分が故郷を探し求めていることを明らかに表したのです。

(祈り)

すべてを治められる神よ、
あなたの恵みがなければ、だれもみこころにかなうことができません。
いつくしみに寄り頼むわたしたちを支え、導いてください。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

(詩編103編)

わたしの魂よ、主をたたえよ。
わたしの内にあるものはこぞって
聖なる御名をたたえよ。
主はお前の罪をことごとく赦し 病をすべて癒し
命を墓から贖い出してくださる。
慈しみと憐れみの冠を授け
長らえる限り良いものに満ち足らせ
鷲のような若さを新たにしてくださる。
天が地を超えて高いように 慈しみは主を畏れる人を超えて大きい。
東が西から遠い程 わたしたちの背きの罪を遠ざけてくださる。
主はわたしたちを どのように造るべきか知っておられた。
わたしたちが塵にすぎないことを 御心に留めておられる。
人の生涯は草のよう。
野の花のように咲く。
風がその上に吹けば、消えうせ
生えていた所を知る者もなくなる。
主の慈しみは世々としえに 主を畏れる人の上にある
恵みの御業は子らの子らに
主の契約を守る人 命令を心に留めて行う人に及ぶ。

(主の祈り)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来たらせたまえ。
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪を犯す者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。アーメン。